

越嶺会報

令和元年（2019年）5月10日

第86号

発行 越嶺会本部

〒930-8555（富山市五福3190）

富山大学経済学部内

☎（076）445-6411（ダイヤルイン）

Fax（076）445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ

越嶺会

検索



朝の大学正門風景（4月16日（火）8時半頃撮影）

真ん中の白い建物は黒田講堂。その前に高く見えるのは「別れの松」と言われた戦前兵舎があった頃からのもので正門脇に立っている。その右、太陽光発電パネルが乗っている建物は災害対策プラザ。

目次

越嶺論壇	2
チューリップ球根産業	
アクティブラーニング	新里泰孝
寄贈図書御礼紹介	3
母校だより	4
教員の異動（定年退職、昇格、転出、新任）	
学長交替、新執行部	
シンポジウム	
ゼミナール協議会	
卒業	
学部長式辞、越嶺会長祝辞、	
各支部お祝いメッセージ	
入学 地域別入学者数	
経済学部資料室だより	軽井沢「亜武巢山荘」

本部だより	15
寺林敏・前越嶺会長瑞宝中綬章受章祝賀会	
視野を広げよう就職活動に向けたOBとの懇談会	
卒業論文をお返しします	
会報発行協力金をお願い	
各支部・各回だより	17
関東越嶺会、学部11回、	
吉原ゼミOB会のお知らせ	
会員ひろば	19
チェンマイ絆園の桜開花、中西進氏との縁	
会員の訃報	20
富山大学基金便り 第13号	
住所変更通知をお願い	
越嶺会総会へのお誘い（令和元年5月29日（休））	

越嶺論壇

チューリップ球根産業
アクティブ・ラーニング

新里 泰 孝

経済学部でマクロ経済学を担当しつつ、経済教育の研究やチューリップ球根産業を調査研究してきた新里先生が定年退職にあたり「実験的」な講義をされたので、一筆お願いした。
(事務局)



今回のアクティブラーニング「能動的学習」は、聴講者の議論・討議が眼目である。話しやすいように座席を指定した。学生二、教員二の四人グループで着席し、

四人で議論しグループとして意見を発表する形とした。参加者は学生二〇名(社会人学生も含む)、教員二〇名であった。まず、リラックスしてもらった



研究のきっかけ

チューリップに関心を向けたのは、一九八六年の日本学生経済ゼミナール大会にゼミ生が参加したのがきっかけであった。「食料問題と今後の日本経済―農産物貿易問題と日本農業の将来―」と題して、富山チューリップ球根の自由化問題を学生七名(代表・中塚亮(三七回生)、河合謙治、斉藤吉宏、宮下亮、飯塚昌宏、野中秀明、佐藤功)と共に考えた。一九八九年三月には「チューリップ球根を中心とした花き園芸に関する農業経済の文献案内」を「富山大学日本海経済研究所研究年報」などに発表し始めた(現在二〇一五年三月にVまで)。一九九九年七月には二か月間オランダ農業経済研究所へ学術振興会の短期留学制度で客員研究員として滞在、ニコ・デハルト氏らと交流を深めた。

輸入自由化

一九八八年に輸入球根の隔離検疫の緩和という輸入自由化になって三〇年が経つ。自由化すると輸入量が急激に増加した。しかし、当初は意外にも、球根価格(卸売)は下落せず、二〇円(一九八七年)から二四円(一九九一年)と上昇した。一九九三年まで全国でも富山県でも生産量は拡大した。この年を境に、国内・県内生産量

め、簡単なクイズ三問(三頁三段落参照)を出して、グループで話し合い、個人で解答用紙に記入。次に、アンケート調査として。砺波のチューリップフェアの入場料はいくらが良いかを、無料から二千円以上まで十択から選んでもらった。さらに、歴史系のクイズ四問、生産量など三問を出した。最後に、チューリップ球根産業再生戦略の提案を、これもグループで話し合い、解答用紙に個人の考えとして書いてもらった。

が減少し、価格下落が始まった。輸入は年々増加したが、二〇〇一年をピークに減少へと転じた。この年が消費(国内生産+純輸入)の最大であった。自由化前(一九八七年)の約三倍まで拡大した。価格は一五円(二〇〇一年)へと低下した。自給率は二割程度(富山一割、新潟一割)である。その後は、輸入、国内生産ともに減少し、奇妙なことに、価格はほぼ一定である。現在、消費量は自由化当初(一九八八年)の水準にあり、供給の構造が、当時の輸入と国内生産が入り替わった形になっている。

研究のポイント

このような変化プロセスを経済学の需要曲線と供給曲線のシフトによる価格と取引量の変化で考えてみようというのが講義のポイントである。需要のシフト要因、供給(国内生産+輸入)のシフト要因こそが変化の原因である。原因が分かれば、おのずと対策が立てられる。

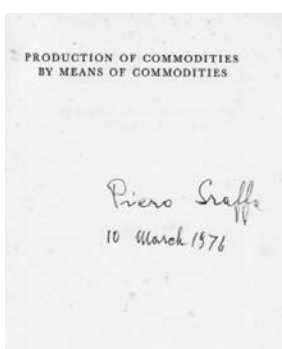
産業界再生戦略

最後のグループ討議を経て、チューリップ球根産業界再生戦略について、以下のような提案が出た。日本に無い・見ない日本では珍しい品種を栽培する／花産業だけでなく他の産業と連携、例えば飲

食店での花の盛り付けに使う／SNS、インスタの利用／医療や食料として使えないか研究する／大規模経営／産学協力／商品開発(花、球根以外)／小学校の教材としてアサガオの代わりにチューリップを育てる／切り花需要を増やす工夫をし、最終的に球根生産を拡張、再生／花、チューリップのある生活の新しい姿の提案／

プロフィール

一九七六年三月早稲田大学三年の春休みに、ケンブリッジへ語学留学し、図書館で見かけるピエロ・スラツファ教授に、持ってきた著書にサインをもらい話をした。



スラツファ教授のサイン

神戸大学院では置塩研究室(置塩信雄先生)に入り修士論文は「賃金・物価と循環過程—賃金物価スパイラルの分析」を書いた。一九八二年四月に富山大学経済学部助手に採用、八九年九月から一年半英国ケンブリッジ大の客員研究員として留学。二〇〇一年七

月教授就任。

「クイズの答え」チューリップを

一 国の花とする国は七カ国

アフガニスタン、イラン、カザフスタン、キルギス、トルコ、

オランダ、ウズベキスタン

二 県の花とするのは二県 富山

県、新潟県

三 市区町村の花とするのは十一

北海道湧別町、新潟市、新潟

県胎内市、富山県砺波市、入

善町、千葉県匝瑳(そうさ)

市、群馬県邑楽(おうら)郡

大泉町、東京都足立区、愛知

県清須市、鳥取県西伯(さい

はく)郡日吉村(ひえつそ

ん)、福岡県直方市。

四 初めてオランダからチューリ

ップ球根が輸入されたのは、

明治二七年(一八九四年)

五 チューリップの歌(サイタ

イタ)ができたのは、昭和七

年(一九三二年)

六 水野豊造氏が砺波でチューリ

ップ栽培を始めたのは、大正

七年(一九一八年)

七 富山県の花と定められたのは

昭和二九年(一九五四年)

八 チューリップ球根輸出の富山

県比率が一〇〇%になったの

は、昭和五三年(一九七八

年)

九 日本でチューリップ球根生産

量が最大になったのは、昭和四四年(一九六九年)

十 富山県でチューリップ球根生

産量が最大になったのは平成

五年(一九九三年)

「アンケート結果」チューリップ・

フェアの希望入場料の平均値は六

九二・三円・中央値は六百元。

寄贈図書御礼紹介

中尾哲雄様(学部八回)から左記の図書をご寄贈いただきました。紹介し、御礼申し上げます。

Introduction to AMERICAN GOVERNMENT The National Government by FREDERIC A. OGG and P. ORMAN RAY 第10版 1951年刊(523-35) A5判 829p.

Introduction to AMERICAN GOVERNMENT The National Government by FREDERIC A. OGG and P. ORMAN RAY 第10版 1951年刊(531) A5判 829p.

Introduction to AMERICAN GOVERNMENT The National Government by FREDERIC A. OGG and P. ORMAN RAY 第9版 1948年刊(488) A5判 1135p.

母校だより

教員の異動

定年退職 平成三十一年三月三十一日

新里泰孝・教授(マクロ経済学)

一九八二(昭五七)年四月着任。

在職三十七年

長谷部宏一・准教授(日本経営史)

一九九四(平五)年四月着任

在職二十五年

古川 勝・教授(生産システム論)

一九九九(平十一)年四月着任

在職二〇年

昇格 平成三十一年四月一日付

増田友樹・准教授(商法)

承継職員へ転換

(特命講師から講師へ)

平成三十一年四月一日付

本山卓実・講師(マクロ経済学)

転出 平成三十一年三月三十一日付

平井俊行・准教授

法政大学経済学部教授に

新任 平成三十一年四月一日付



河塚 悠(こうづか はるか)講師

所属学科：経営学科

担 当：流通論

最終学歴：慶應義塾大学大学院

商学研究科後期博士

課程単位取得退学

前 職：慶應義塾大学大学院

商学研究科大学院生

生 年：一九九二年

出身地：広島県

ひとこと：初めて教員として富山

大学に着任することになりました。

広島生まれの私は、大小の島々が

点在する穏やかな瀬戸内海を見て

育ちました。そして、大学進学に

伴い上京し、初めて広大な太平洋

を見ました。この度、有難いご縁

をいただき、着任するにあたり、

東京から富山に向かう新幹線の中

から立山連峰を望みながら、眼下

に広がる日本海に出会いました。

その際、上京して初めて太平洋を

見た約一〇年前の感動が蘇り、当

時の希望に満ちた自分の姿と現在の

自分の姿を重ね合わせ、新たな

環境で新たなスタートを切る喜び

を噛み締めると同時に、当時とは

違う立場であることを自覚し身が

引き締まる思いがしました。

研究分野はマーケティングで、

これまでは小売店舗内における消

費者行動に関する研究を行ってま

いりました。今後は富山大学の一

員として、より一層研究に励み、

教育にも精一杯取り組む所存です。

どうぞ宜しくお願い致します。



馬 欣欣(ま きんきん) 准教授

所 属：研究推進機構

担 当：極東地域研究センター

教育及び研究

最終学歴：慶應義塾大学大学院

商学研究科博士

後期課程博士

前 職：一橋大学経済研究所・

准教授

生 年：一九六七年

出身地：中国・大連市

ひとこと：東京で長く暮らし、北

陸地方での生活は初めてです。赴

任前に、前職場の同僚達から富山

は自然風景が綺麗で、海鮮料理が

非常においしいところと聞きました。

着任後、五福公園で、綺麗な

夜桜を鑑賞しました。不安な心が

とても癒されました。

私は、中国で内科医師として勤

めていました。言うまでもなく、

人間の体を診る医者も大切な仕事

です。しかし、いつしか私は「社会の医者」になれば、もっと大きな社会貢献ができるという信念を抱くようになり、二〇〇〇年日本に留学し、経済学を学びました。あれから約二〇年の歳月が経ちました。専門は中国経済論・労働経済学・開発経済学です。とくに中国における所得格差及び社会保障に関する実証研究を行ってきました。

極東地域研究センターの皆様にも温かく迎えていただきました。とても良い同僚達に出会って幸運です。今後、これまで蓄積された知識及び経験を生かして、富山大学で中国経済に関する教育および研究に全力を尽くして取り込みたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

学長交替、新執行部

齊藤滋・学長

(任期は二〇一九年四月一日から

四年)

理事・副学長は以下の五氏

(任期は事務局長も含め二〇一九

年四月一日から二年)

井上将彦氏(大学改革・将来計画、

前学長補佐)

北島勲氏(研究、前大学院医学薬

学教育部長)

て、「最近の金融経済情勢」と題し、九〇年代以降の日本経済と金



工藤治・日銀富山所長が講義
工藤治・日本銀行富山事務所長（経済学部昭和六〇年卒、丹羽ゼミ）は、マクロ経済学Ⅱ（新里泰孝教授担当）のゲスト講師として公開授業を行なった。

シンポ・学会

池田真行氏（国際・教員評価、前理学部長・大学院理工学教育部長）
磯部祐子氏（教育・入試、前人文学部部長）
武山良三氏（地域貢献・教養教育、前芸術文化学部部長）
理事・事務局長は下敷領強氏（総務・財務担当）

融政策の対応をわかりやすく説明した。そして、平成二五年以降の量的・質的金融政策についても詳しく解説した。さらに、日本銀行の業務をになう職員の仕事をする上での心構えなどにも話が及んだ。政策を執行するところまでが仕事であり、現場目線で検証することの大切さや、変化に対応する適応力が必要であると、就職活動への助言もあった。

優秀論文を越嶺会長表彰。

ゼミナール協議会

二〇一九年三月十四日（木）十三時から経済学部大会議室で行なわれた。

福井学部長の挨拶の後、橋本会長から表彰状と副賞を授与した。次いで各受章者が謝辞と執筆の苦心・工夫・エピソードを話した。

初めてインタビュールに出かけ緊張した、資料が少なかつた、逆に情報の絞り込みに苦心した、あるいは先生の指導で一貫性が保たれた等、書き上げた今は機会を与えてもらい感謝していると語った。

その話を受けて橋本越嶺会長から、地域密着のテーマに時代を感じる。論文をまとめ書き上げることは決断することで、良い経験になる等講評があり、学生からの質問に、学生時代は経営学の野崎ゼミで、ゼミの他に真面目に研究会をしていた、と応えていた。



ミで、ゼミの他に真面目に研究会をしていた、と応えていた。

優秀論文

1. 「富山市地域公共交通網形成計画」と交通体系の課題―富山市・金沢市・福井市の比較と検討―

中亮将・木村孝嗣・泉尚輝
(矢島ゼミナール)

2. 「まち・ひと・しごと創生戦略」の有効性について―富山市・金沢市・福井市を例に―

栗山南美・作田佳奈美
寺田友哉・横山由記
(矢島ゼミナール)

3. 富山市立地適正化計画の現状と課題

谷俊寛・田宮美咲・日塔周作
三瀧優馬・森井珠希
(矢島ゼミナール)

4. 南砺市の地域政策の現状と課題の分析―情報メディアとエコビレッジ構想からのアプローチ―

得永純希・中田和希
丹生雄太
(龍ゼミナール)

5. カネミ油症事件からみる食の安全性について

荒井媛香・西保旺二郎
竹内晴貴・吉田志保
(雨宮ゼミナール)

6. 訴訟から見る福島第一原発事故に対する国の責任

下城崇哉・梶尾達哉
土田瑛久・永島宗明
溝端利樹
(雨宮ゼミナール)

7. キャラクターブランドマネジメントにみるマーケティング・キャラクターブランドを拡大するために―

関口駿輔・山村悠太
(大坂ゼミナール)

卒業

第六七回富山大学学位記授与式は、平成三十一年三月二六日(火)午前十時から富山市総合体育館で挙行された。八学部生一八三〇(内、経済学部三九六)名、大学院生三七四(経済学研究科一八)名、専門職学位課程一四名、論文博士五名、計二二三名に学位記が授与された。さらに、一六名の学長表彰があり、経済学部では清水美咲さん、野田彩花さんが受賞した。なお、司会は今年も重原佐千子さん(経済学部五四回卒)が務めた。

午後一時三〇分から、富山国際会議場に移って経済学部学位記授与式が行なわれた。

まず学位記が各学科代表に授与された後、福井修経済学部長・研究科長が式辞を述べ、次いで、橋本越嶺会長の祝辞があった。卒業生・修了生を代表して相川晃輝さんが挨拶し、成績優秀者として経済学研究科企業経営専攻の藤川晴賀さんに表彰状と記念品が贈呈された。祝電披露として越嶺会各支部からのお祝いメッセージも紹介された。

授与式終了後、各学科長から個々に学位記が手渡された。その後、隣のANAクラウンプラザホテルで祝賀会が催された。

森岡裕教授・評議員のご発声で乾杯し開宴した。ステージ上では各ゼミが順次、恩師とともに記念撮影をして名残を惜しんだ。宴たけなわの頃、定年退職する新里泰孝教授のご発声で万歳三唱をして中締めとした。壇上の記念撮影はその後も続いていた。



成績優秀者表彰 藤川晴賀



卒業生代表挨拶 相川晃輝



岩本ゼミ



宮井ゼミ



橋口ゼミ



岸本ゼミ



辻本ゼミ



唐渡ゼミ



馬ゼミ



福井ゼミ



柳原ゼミ



新里ゼミ



横山ゼミ

学位記授与式 学部長式辞



皆さん、卒業、修了おめでとうございます。

今日の日を迎えたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。また、これまで皆さんの学業を支えてこられたご家族のみなさまにも心よりお慶び申し上げます。

さらに、本日、来賓として経済学部同窓会・越嶺会の橋本会長にご臨席賜り、学位記の授与を行うことは、私たちの慶びとするところであります。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、本日をもって大学での学びを終え、社会にむけて巣立って行かれます。それでは、今の社会の状況はどうでしょうか。

世界を見渡せば、アメリカはトランプ大統領が自国第一主義を標榜し、核合意やCO2削減等の重要な国際合意を次々と反故にしています。イギリスはEU離脱の手続きが議会で否決され、このまま合意なき離脱をするかどうかが目ざれ、混乱しています。フランスもドイツも政治的に安定している状況ではありません。経済面では、アメリカと中国の関税引き上げ合戦が始まり、貿易戦争に勝者はないと言われるとおり、アメリカの農家は大きな影響をうけていますし、他方で中国でも幅広く経済面の影響を受け、景気減速につながっています。そして中国経済の減速が日本の企業業績にも波及し、日本の景気も長年続いた上昇局面から下降局面に転換したと報道されています。まさに世界は混沌としていますし、日本の経済面にも暗い影が落ちています。

こうした状況の中で巣立っていく皆さんはどうすればよいでしょうか。

私から皆さんに対して二つの点をアドバイスしたいと思います。それは、どんな状況の時でも、今の自分の状況を冷静に見つめて、自分ができることを準備することが大事だということです。ポイン

トは第一に今、つまり現在を大事にすること、第二に準備をすることです。

今を大事にするとは、どういうことでしょうか。皆さんの中には、就職したらこういう部署に入って、こういう仕事がしたいと考えている方がいるかもしれませんが、そうした希望を持つことはよいことだと思いますが、多くの場合は希望どおりの部署には配属されません。

そこでくさってしまおうと、評価が下がって、ますます希望の部署にはいけません。今配属された部署で自分の役割は何なのか、その部署の課題は何なのか、それを達成するために自分は何をしたらよいのかを考えて、今の立ち位置で自分の最良のパフォーマンスを出すことです。

過去を振り返って反省することは大事ですが、その反省点を踏まえて、現在の自分の行動に生かすためだと思っています。また、未来を想定して将来の展望を持つことは大事ですが、それも現在できる一歩を踏み出すためのものだと思います。

以上が第一の、今、つまり現在を大事にすることです。

第二に準備をすることです。

先日引退発表したイチローは野球の天才であることに異論はないでしょうが、それと同時にすべてのことを周到に準備していたこと、準備のプロセスを怠らなかつた点で、他の選手とかけ離れていたことが紹介されていました。アスリートにとって、準備は特に必要なのかもしれませんが、すべての仕事において準備することは重要だと思います。

多くの場合はそれなりの準備期間があるはずですが、準備不足に



香川ゼミ



金ゼミ

なってしまう場合が多いのです。私の経験でも、うまくいかなかった要因は、多くの場合準備不足でした。

例えば、皆さんもゼミのプレゼンテーションで経験したと思いますが、当日どういう資料を準備したらよいかというのは重要です。

次に、当日どういう質問が出るか、それに対してどう回答するか、つまり想定問答を考えておくという作業があります。想定問答の中には、資料自体に反映させた方がよい項目があるかもしれません。

つまり、想定問答を考えるとこのことはプレゼンテーションの内容を客観的に見つめ直すということです。こうして想定問答を考えて、資料をアップデートするという繰り返しをすることで、プレゼンテーションの品質はあがります。

これからは、ゼミの先生や仲間の顔を職場の上司に置き換えて、あるいはお客様の顔に置き換えて、同じように準備をすればよいわけです。準備行為の一つ一つは大したことではないかもしれませんが、それを積み重ねておくことが大事だと思います。また、十分な準備をしておくことが心の余裕にもつながり、落ち着いた対応ができます、好印象を与えます。

以上が、第二の、準備をするこの大切さです。

さて、今日から富山大学経済学部は、皆さんの母校です。二万人を超える先輩たちが築き上げてきた地域や人との繋がりは、皆さんにとってこれからの人生を生き抜く財産になるでしょう。

しかし、社会に出たとき、人生の節目で思い悩むことがあるかもしれません。そんなときには、皆さんがかけがえのないときを過ごした五福キャンパスを訪れ、自らを振り返り、新たな道を切り拓くきっかけとしていただければと思います。

皆さんの将来が実りの多きものであることを心から願いまして、経済学部、大学院経済学研究科学位記授与式の式辞といたします。

平成三十一年三月二十六日

富山大学経済学部長

大学院経済学研究科長

福井

修



岩内ゼミ



大坂ゼミ



森口ゼミ



松井ゼミ

越嶺会長祝辞



皆さん、卒業及び修了おめでとうございます。今日までの成長を支えてくれた御家族の皆様、喜びもひとしおかと存じます。また、学生を教育、ご指導いただいた福井学部長はじめ教職員の皆様に改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

思い起こせば、私の期の卒業式は四月でありました。五十年前の四月に入学しましたが、当時は学生運動の真最中で、全学部がストライキ中でした。実際に授業、講義が始まったのは、一年生の十一月位でした。

四年間の在学中、通算一年間を超える学部のストライキで、通常の講義はスムーズに行なわれず、勿論まともな夏休み等はほとんどなく、集中講義の連続で、卒業に必要な授業日数を確保し、何とか全員が四月に卒業出来ました。

その当時、ほとんどの学生は既に入社した会社で勤務しており、四月の卒業式には参加出来ませんでした。現在の平穏な大学生活から考えると、特異な四年間だった様に思います。

本日、この様に平穏に卒業式を迎えられたということは誠に喜ばしい限りです。

さて、経済学部と同窓会組織の越嶺会について少しふれさせて頂きます。

現在同窓会員数は、富山大学経済学部、旧制高岡高商、旧経営短大、大学院を含めて約二万四千六百名余になっています。

女子の会員も年々増えてきております。女子の入学人数でみると、直近の平成三〇年は四〇%弱と、少子高齢化、人口減の中、更なる女性の社会進出が求められる昨今、徐々に五〇%に近付いていくものと思われれます。

越嶺会の行事は、五月の富山の本部総会のほか、関東、関西、東海、石川、福井、東北六支部で定期に、神戸、静岡などは不定期に開催の支部総会がメインです。同じ大学、学部で学んだ者同士が、これを一つの絆として親しく交流し、親睦を深め、新しい絆を結んでいけるよう、富山、全国六支部等の総会を活用していかれることを願っております。

さて、五年後の二〇二四年、経済学部は旧制高岡高等商業学校以来、創立百周年を迎えます。

昨年四月の新学期「都市デザイ



秋葉ゼミ



中村ゼミ



中村(真)ゼミ



森口ゼミ(院)

ン学部」創設に伴い、経済学部の定員は減員され、一学年三三五名となりました。同時に教養教育の五福キャンパス一元化もスタートいたしました。時代の変化に合わせて、経済学部も変わっていくと思われれます。

昨年度の出生数は九十五万人を下回り、更なる人口減が確実に進んでおります。二〇二〇年の東京オリンピック以降、世界の中の日本はどう変化していくのでしょうか。明るい未来ばかりではないと思いますが、興味はつきません。

我々が住んでいる日本は、特別な天然資源もなく、食料自給率も低く、世界各国との貿易なくては生きていきません。

世界各国の人々と、どうつきあっていくのかも今後の皆様の大きなテーマの一つになるかと思えます。

また、昨今の環境変化は革命的と言ってもいいほど激しいものです。米中の覇権争い、英のEU離脱、欧米でのポピュリズムの拡散、行きすぎた自由経済に対する反動、救いようのない格差拡大等々。

産業界においても、人工知能、ロボット、IoT、ビッグデータ、シェアリングエコノミー等々をどう活用していくのか、皆さんの様

な若い世代の柔軟なアイデアが求められております。色々な仕事があり人工知能、ロボット等に代替される時代が近づいています。このことは働き手にとってはリスクでもありますが、経済全体としては大きな可能性を秘めています。

最後になりますが、この様に大きく、スピードのはい変化の時代、これからの皆さんの人生には転機となる機会もあるかと思えます。そんな時に、本年七十才になる一〇Bの戯言として、お伝えしたいのは、

(1) 真実はどうか

(2) 夢はどうか

(3) 愛はどうか

皆さん自分に問いかけてみて下さい。

そして、常に日本のみならず、世界の政治経済に興味をもち、アンテナを高く張って、自分自身でしっかりと判断し、皆さん一人一人が豊かな人生を歩んでいかれることを心より願っております。

本日は誠にありがとうございます。

平成三十一年三月二十六日

越嶺会々長 橋本洋二



長谷部ゼミ



鳥羽ゼミ



唐渡ゼミ



堂谷ゼミ

各支部お祝いメッセージ

ご卒業・修了おめでとうございます。

新たなスタートとなりますが、今日までの学生生活を支えてくれたご家族の皆さんへの感謝の気持ちを忘れてはいけませんね。

日頃、変革や改革が大事と言われますが、新人の皆さんは、まずは担当業務をきちんと処理して理解し、次のステップへ成長していくことが大切です。現状・現場を把握せずして、変革・改革はできませんし、中長期の視点も持てないでしょう。

今やメール等々のIT機器を活用するのは組織も個人も必須ですが、上司・同僚・取引先等々との直接の対話・コミュニケーションがあってこそ、真の連携ができるのです。ぜひ、バランスのある社会人を心がけて下さい。大いなるご活躍を心より願っています。

関東越嶺会では、定時総会・懇親会以外にも多数のイベント企画があります。どうぞ、お気軽に参加して下さい。キトキトな皆さんを待っています！

関東越嶺会会長 福田 哲郎・会員一同

学部卒業、大学院修了の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

いま皆様の眼の前には、進むべき道への希望と期待が渦巻いていることと思います。

一方、皆様を受け入れる社会の側でも、大きな期待をもって皆様の待ち受けています。

活躍の場は広く開け放たれています。同窓のものとして、一社会人として皆様のご活躍を祈念しています。

私たちの東北支部は、青森県から福島県までの広い地域をカバーしており、なかなか会員同士の連携を深めていくことが難しい現状です。支部では、隔年開催で一泊二日の総会・懇親会、ゴルフコンペを東北各地の温泉地で実施しています。とても気楽な会ですので、当地域に赴任されることになられた皆様、また出張などで訪れる機会のある方々のご一報をお待ちしています。

東北支部長 奥 清一(学部19回)

ご卒業・修了、誠におめでとうございます。

某メガバンク元副頭取Y氏(80歳)の「失敗」についての記事を、前途洋々たる若き皆様に紹介し、はなむけの言葉とします。

「兎に角失敗ばかりですよ」と明るく笑うY氏。「技術者も失敗する。営業も失敗する。勿論僕も失敗する。だが社員の失敗を一度も怒ったことはない。こういう失敗をした、と報告を受けたときは、そうか、じゃあ今度はこうやってみたらどうだ？と返すようにしている。

失敗の理由を見極めて別の解決方法を見出せばよい。そうすれば必ずいずれは成功できるはずです。だから失敗を恐れることはない。僕はね、失敗を忘れたらいいと思うんですよ。勿論まるっきり忘れて、同じことを繰り返すようでは、成長は見込めない。本当に忘れるのではなく、なぜ失敗したのかを考えてその経験を失敗と思わない形にして、自分の中に収めていくことが大切です。

そうすることで、失敗は恥ずかしい過去でなく大切な経験として蓄積されていくのです。」

これからの長い人生、失敗を恐れなくて生きて下さい。

毎年6月下旬の関西支部総会に是非ご参加下さい。とてもおもしろいよ。キャラの濃い諸先輩がボケと突っ込みで会を盛り上げてくれます。

関西支部長 三宅博(学部22回)・支部員一同

ご卒業・修了 誠におめでとうございます。

一生懸命に前へ進む姿を、あとに続く後輩や、私達に見せてください。そして常にすべての人に対する感謝を忘れないでください！

皆さんのこれからの人生が明るく希望に満ちたものになることを祈ってやみません。

なお越嶺会石川支部では、例年7月に総会を開き、10月にはゴルフコンペを行って皆さんの親睦を図っています。一歩足を前へ進めて参加してみませんか。

石川支部長 蘭守貴弘 (学部24回)

ご卒業・修了、誠におめでとうございます。皆さんの前途が希望に満ちた洋々たるものであらんことを願っております。

今、日本も世界も、そして経済も技術も凄まじい速度で変化しています。その中に皆さんは入って行く訳ですので、今まで以上の努力と研鑽が求められます。

富山大学で学び培った人間力と失敗を恐れない勇気をもって、ご自分の世界を築いていただきたいと思います。

皆さんの未来に心よりのエールをお送りします。

越嶺会東海支部は愛知、岐阜、三重、静岡の各県在住あるいは勤務の方々の同窓会組織です。毎年7月に名古屋にて総会・懇親会を開催して同窓生のネットワークを築いています。

若い皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

東海支部長 中村昌弘(学部22回)

ご卒業・修了おめでとうございます。晴れの門出を心からお祝い申し上げます。

就職活動や将来にむけての動きなど皆様が尽力されたことをお喜び申し上げます。

社会が様々な転換期を迎える中、あなた方が重要な役割を持ちます。激動の世の中、いろいろな常識が変わりますが、あなた方が主体的に動かれることにより、その波も乗り越えられることでしょう。楽しみであり、期待しております。

われわれ福井支部は毎年10月第4土曜日に交流会を行っており、今年は26日土曜日の夕方から行います。

会社の枠組みを超えた、人とのつながりを作ることで、あなたの会社での存在感をさらに磨けることとなるでしょう。ご縁を作り出してください。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

「つながりを生み出しましょう！」

福井支部長 舟木幸雄(学部20回)



万歳三唱 新里教授



万歳三唱

地域別入学者数(2019年4月8日現在)

		昼間主コース		夜間主コース		合計	
		男	女	男	女	男	女
北海道		3	1			3	1
東北	岩手		1		1		
	宮城	1				1	
	秋田	1				1	
	福島	1			1	1	1
関東	栃木	1				1	
	群馬	6				6	
	埼玉	1				1	
	千葉	2				2	
	東京	1	1			1	1
	神奈川	1				1	
甲信	長野	25	7			25	7
	新潟	9	6		1	9	7
北陸	富山	46	48	9	11	55	59
	石川	25	35	2		27	35
	福井	16	7			16	7
東海	静岡	3	2			3	2
	愛知	11	6	1		12	6
	岐阜	20	5		1	20	6
	三重	4				4	
	滋賀	2	1			2	1
近畿	京都	3		1		4	
	大阪	4	1			4	1
	奈良	1				1	
	兵庫	2	3	1		3	3
	和歌山	1				1	
中国	鳥取		1		1		
	岡山	1				1	
九州・沖縄	福岡	1				1	
	沖縄						
合 計		191	124	16	14	207	138
		315		30		345	

入 学

富山大学の入学式は四月四日(木)例年通り、富山市総合体育館で挙行された。四月一日就任した斉藤滋学長が、九学部一八二八名、大学院生四六一名、編入生四八名の入学を許可した。

経済学部は昼間主コース三一五名、夜間主コース三〇名、大学院経済学研究科十五名、三年次編入十一名であった。

式の後、同窓会連合会から薬学部OBの小杉敦氏(日医工株式会社)が特別講演を行なった。

経済学部資料室だより
軽井沢「亜武巢山荘」

軽井沢の浅間隠レイン沿いに登録有形文化財「亜武巢山荘」があります。富山にアームストロング青葉幼稚園を設立したM・E・アームストロング女史が、親しくしていた近江兄弟社のW・M・ヴォーリズから譲り受けて使用していた別荘です。山荘は一九二〇年頃の建築ですが、地上二階地下一階の建物外観は美しく、設計者ヴォーリズがデザインした軽井沢彫りの家具も保存されています。



山荘に寄り添うようにして立つのは、樹齢約百年になるカエデ

英語講師・亜武巢マーガレット

ところで、カナダ人宣教師・幼児教育者アームストロング女史は一九四三年四月から翌三月まで、高岡高等商業学校で英語講師をしていました。

一九二四年設立の高岡高商では英語、独語、仏語、露語、支那語、スペイン語の授業があり、常時数名の外国人講師が在職していました。が、戦争の影響で次第に去り、一九四三年三月には支那語講師一名を残すのみとなりました。最後に離職したボック講師の後任として、日本に帰化していた亜武巢マーガレットが採用され、週六時間

の英会話授業を担当していたことが、当時の校務文書などから確認できます。昭和一七年九月の高陵会(現越嶺会)名簿には、特別会員の欄に手書きで女史の名前と住所が書き加えてありました。

高商教授の軽井沢別荘

越嶺会報二〇号で高商十三回の宇野津市郎氏が、昭和一四年七月に軽井沢で開催された日本国際協会主催の夏期大学に同期の石野清兵衛氏、篠原三代平氏と参加し、大会後に別荘で休暇中の向井梅次教授、ボック講師を訪ねたことを回想しています。北陸新幹線で、富山と軽井沢の行き来は便利になりましたが、現在想像する以上に、富山と軽井沢の間で人々の往来はあったようです。

※「亜武巢山荘」の内部は一般公開されていません。資料室には室員作成の写真資料(5P)があります。

越嶺会グリーン会ゴルフ大会の
お知らせ

日時：八月二四日(土)

七時スタート

場所：太閤山CC

※日曜日は行事が重なり参加しにくいとのご意見あり、「土曜日開催」といたしました。

本部だより

寺林 敏 前越嶺会会長・
富山大学同窓会連合会会長
瑞宝中級受章祝賀会

二〇一八年十二月十一日(火)

十八時

オークスカナルパークホテル富山

平成三〇年秋の叙勲で瑞宝中級章を受章された寺林前会長の祝賀会を橋本会長を発起人代表に、副会長各位を発起人として開催した。富山大学同窓会連合会の会長でもあるので、富山大学の各同窓会長にも案内した。

ひと月前の呼びかけのため、既に予定が入っている人も多かったが、五十名余の参加者があった。はじめに、橋本洋二越嶺会会長が開会挨拶し、経歴を紹介した。

寄付金御礼

左記の方々からご寄付いただきました。記して御礼申し上げます。

学部五回

宮崎 甚一様 一万円

学部二一回

橋本 洋二様 五千元

学部二三回

谷垣 好寛様 五千元



次いで、受章者挨拶として寺林敏氏が、お礼の挨拶を述べた。新幹線誘致にかかわる仕事をしながら、官僚の考え方、仕事の仕方を間近に、あるいは肌で感じたことが大きかったと感慨を込めて語った。

乾杯に移り、発声を中尾哲雄越嶺会最高顧問にお願いした。大学紛争時代の卒業生でロクに勉強していないはずなのに優秀なことに感心したと独特の語り口で挨拶された。



歓談の中で祝辞をいただいた。河合隆・前同窓会連合会会長、鈴木基史・富山大学理事副学長、福井修・経済学部長が祝辞を述べた。

北野芳則・第二代同窓会連合会会長と稲田裕彦・富山薬窓会長から祝電が贈られてきたことを紹介した。
五五回生の能登幸美さんから花束を贈呈しお祝いした。



お開きの前は、越嶺会では「ふるさと」を会場の皆さんと合唱するのが恒例になっている。配付のパンフレットに印刷の歌詞をみなで合唱した。特に、中尾さん作詞の四題目、五題目は中尾さんに主唱してもらい続いて歌った。



出席者

最後に、松原隆光副会長が閉会の一本をしてお開きとした。

寺林 敏

富大同窓会連合会会長、二〇回

中尾 哲雄

初代連合会会長、八回

河合 隆

第三代連合会会長人文学部卒



五九回	五五回	五四回	四二回	四一回	三八回	三六回	三五回	三四回	三三回	三二回	三一回	二九回	二四回	二二回	二一回	一九回	一七回	一六回	一四回	一二回	七回	田代	鈴木	福井	坂井	高井	富山	中村
園部	能登	重原	堀田	金瀬	殿村	杉本	浅岡	丸杉	土屋	工藤	松田	福井	清水	蘭守	鳥居	釜谷	竹田	上埜	久郷	四津	小橋	塩崎	発造	基史	孝幸	正三	義朗	
佑樹	幸美	佐千子	能州	正志	幸子	弘彦	輝	誠	治	博和	圭司	直樹	孝夫	貴弘	由美子	洋二	春雄	隆行	隆一	啓一	利平	同窓会連合会幹事長	大学理事・副学長	経済学部長	仰岳会会長	理学部同窓会会長	教育学窓会会長	
		松原			二口	竹田	山田	和良	新助	石井	舟崎	友晶	初弘	鶴瀬	米原	澤合	文雄											
		隆光			達矢	洋	勉			幸治						俊孝												



平成三十一年一月十五日(火)
第四限の十四時三〇分から開催した。越嶺会員のいる企業等からOB・OG十三社十八名に参加してもらった。公務員の部では富山市、富山県警、自衛隊。金融では、日本銀行、富山第一銀行、富山銀行、富山県信用保証協会。一般企業では、北陸電力、日本海ガス、インテック、北日本新聞、ピア、北陸コカコーラ。予想されたこととはいえ、学生

視野を広めよう
就職活動に向けた
越嶺会(経済学部OB)
との懇談会

短大
二回 稲垣 喜夫
三回 高田 政公
六回 大垣 輝夫
十六回 浦田 竹昭
二四回 山崎 宗良
二〇回 荻布 彦



の参加は少なく、企業等の皆さんへの期待に添えないところがあった。ただ、少人数のため個人的なことも聞けて良かったとの感想もあった。また、企業の方からは、少人数にも拘らず積極的に質問してきた、前向きな姿勢、真摯に取り組んでいることがわかり好感が持てたと、丁寧なアンケートの回答があった。



卒業論文を お返しします。

返却ご希望の方は、卒業年とお名前を越嶺会事務局までお知らせください。

(メール、FAX、葉書、手紙、電話などで)

郵送料はご負担願います。受け取られた後、受領書と共に切手にてお送りください。

短大の方はありません。学部も第六回からあります。事務局までお問い合わせください。

返却卒論を受け取って

越嶺会東海支部の先輩が、「帰ってきた卒論を読んで、レベルの低さに愕然とした」とのことでしたが、私は帰ってきた卒論を読んで、けっこうレベルが高いと思いました。出来ることなら、もう一度勉強してこのレベルに戻りたいと思いました。

定年を迎え、再度、勉学の道を志したいと思っています。ありがとうございました。

各支部・ 各回だより

関東越嶺会講演会・新年会報告

日時 平成三十二年一月二十八日

(月) 十八時三十分

会場 東京富山会館(文京区白山)

講師 清家彰敏先生

演題 激動する中国における
ビジネス最前線

はじめに、来賓が紹介された後、福田哲郎会長(学部一八回)が「来賓・関係団体・会員へ寒中での来場に謝意。今年関東越嶺会は八九周年となる、先輩・後輩の繋がりをさらに深め活性化していきたいので、ご支援をお願いしたい。」と開会の挨拶。なお、飯塚修代表幹事(学部二五回)の司会で進行。



講演会の講師は、富山大学名誉教授の清家彰敏氏。平成二八年に富山大学経済学部教授を退任されましたが、現在は中国の医療施設の構築支援活動等、幅広い分野で活動されています。今回の演題は「激動する中国におけるビジネス最前線」。

世界に大きな影響を与えている中国であるが、現体制を維持していくには、「安定」がキーワードであり、そのために再び毛沢東を掲げたり、日本や日本の長寿企業に学ぶという考えがある。米国は知財がもたらす権益維持のために、中国に対して先端技術に規制をかけたり、中国から技術者を流出させたりしている。追い詰められた中国がロシアに接近するよりは、日本とつながることは米国には好ましいことであろう。

日本企業の多くは、中国ビジネスで失敗をする。日本人は少し上手いくと、相手を信頼できる仲間と思ってしまうが、相手はあくまで最後はビジネスであると割り切る。(以上、講演からの抜粋です。)

第二部の新年会は、大松日出夫副会長(学部五回)の力強い乾杯発声で開始され、賑やかな懇談が始まりました。

懇談の中、東京富山県人会連合

会の金岡隆常務理事のスピーチを頂戴しました。金岡氏は、参加者に連合会誌「富山と東京」のPRをされ、大相撲前頭の朝乃山(富山市出身)の活躍について話されました。



会も終盤となり、満一〇一歳の古澤英雄最高顧問(高商一二)の講評がありました。最高顧問は、皆さんと今後もお付き合いするたために長生きしますと、ユーモアを交え元気に挨拶されました。

最後に塚光雄副会長(学部一回)の閉会挨拶と一本締めで、盛会裏にお開きとなりました。

今回も多くのゲスト・会員に参加いただき、賑やかで楽しい新年会でした。

「会報発行協力金」

のお願い

低金利のため、越嶺会基金からの果実が出てこない状況です。

財政支援のお気持ちで、同封の振込用紙で送金いただければ有り難く存じます。勝手ながら、三年分三千円以上をお送りいただけると助かります。(越嶺会負担の手数料も四月から高くなりました。)

なお、宛名シールの右下に「感謝 協力金お振込み(H三十一まで)」と書いてある方は、三十一年までいただいていますので、ご放念ください。振込用紙も入れておりません。

また、高商の方には入れておりません。永年のご支援に感謝します。

当日の出席者は次の通りです。

(敬称略)

講師 清家 彰敏
来賓・報道

金岡 隆、釜本 勝、
平尾外志雄、中西 憲幸

会員

高 二回 古澤 英雄
学部 二回 折橋 禧一

五回 大松日出夫、澤井 政夫

浦嶋 稔、桑野 重英

木村 昌治

本村 正忠

島田 雄達

小川 豊、松井 脩

三室 廉夫、重田 直彦

宮前喜久次

太田 龍也、松澤 伸令

石出 宗秀、塚 光雄

清水 道夫

中川 一紀、飯田 捷政

渡邊 慶孝

福田 哲郎、野村 邦雄

浜田 等、日出島恒夫

永井 雅律

竹澤 喜孝、飯塚 修

村山 修

林 良永

高須 康之

林 明宏、草野 圭司

山口 誓成

柿本 浩和

五五回 三浦 徹
五七回 三善 広昭
短四回 土屋 民雄
(学二五回 飯塚修 記)

東京オリンピックへの思いを胸に
学部十一回生集う

卒業五六年度の学部十一回生十人が、平成最終年の三月七日午後、早咲きの桜がそばを膨らませる東京上野公園不忍池そばの東天紅で旧交を温めた。



ミニ同窓会は、金沢に住む藤田長悦君が永年勤務した会社の同期会で上京したのに合わせた急な開

催。にもかかわらず、関東に住む七人と札幌、仙台からも合流した。マンション経営や行政書士など、いまだに現役の延長線上のような人もいたが、ほとんどは俳句、絵画など趣味に時間を割き老後を悠々と過ごしている面々。このためか、話のタネは尽きず二時間の予約を一時間も延長。

学部十一回生が大学を巣立ったのは昭和三八年。翌年オリンピックが東京で始めて開催されたにもかかわらず、新米社会人とあつて会場に足を運ぶことができずテレビや新聞でニュースを見るのがやっと。また、めぐつてきた東京オリンピックだけに「あの時の悔しい思いを来年は晴らそう」と誓って別れた。

今回集まった十人のうち九人は、六年前の六月一八日に静岡県修善寺の温泉宿で「卒業五〇年」を祝った。七十歳代後半になりながら一人も欠けることなく元気な顔を見せた。また十人目は東日本大震災後間もなかったことから参加を見送った、仙台から駆けつけた高橋邦夫君。

参加者は次のとおり

秋元瑞也、五十里紘一、石出宗秀、清水道夫、高橋邦夫、塚 光雄、橋本 勉、藤田長悦、藤田英雄、横山君夫の各氏(あいいうえお順)

(清水道夫 記)

支部総会案内

関西支部総会

日時 六月二十九日(土) 正午
場所 がんこ梅田本店
大阪市北区芝田一―五―一

TEL 〇六―六三六―二〇〇一
JR 大阪駅または阪急梅田駅、
阪神梅田駅より徒歩約一〇分
参加費 女性(年齢不問) 一千元
二〇代の方 二千元
三〇代の方 三千元

右記以外の方 六千五百円
今年も例年同様参加者が主役の「語らいの総会」を目指しています。この会報に同封の出欠葉書で五月末日までにご回答をお願いします。

東海支部総会

日時 七月二十日(土)正午
場所 東京第一ホテル錦
名古屋市中区錦三―一八―二

代表 TEL 〇五―二九五―一〇〇一
連絡先 (株)ワキタ商会 倉地
TEL 〇五―二二五―一五二七

石川支部総会

日時 七月二十六日(金)

六時三十分
会場 金沢ニューランドホテル
ゴルフ大会は九月二十八日(土)

会員ひろば

チェンマイ絆園の桜開花

澤井政夫（学部五回）

日タイ修好百三十周年の一昨年、工事に従事したアジアハイウェイ開通五十周年を記念しチェンマイ市のバーデン公園に「陽光桜」二本を植樹し灯籠九基を備えた、日本庭園「絆園」を寄贈したことは越嶺会報八四号（二〇一八年五月）のとおりである。

当該プロジェクトは工事中の事務所宿舎の地主の子息ボンリット氏（現ランパン大学長）の熱意と市長の要望と承諾によりスタートした。

しかし、チェンマイの日本領事館は、温暖化で桜植樹の企画はいずれも失敗に終わっており、桜が根付くことは大変難しく難しいとの指摘があった。

たまたま愛媛の高岡照海氏から、親子二代にわたり品種改良され南国でも生育する「陽光桜」提供の申し出があり、且つ、尾上清利愛媛大学農学博士の土壌改良の指導を賜り植樹した次第である。

二〇一八年十二月「絆園」開園一周年記念式典に招待を受け桜が

順調に育っていることを見てきた。知事、市長、領事から開花をおどろき、喜ぶ旨の話を聞き、品種改良、土壌改良の大切さを実感した。今年二〇一九年三月初旬、予想より早く待望の桜開花の写真を添えた報告があった。



この「絆園」が、市民の憩いの場として親しまれ日タイ親善の発展に資することを念ずる次第である。そのイベントの一つとしてジャパンフエステイバル（桜フエステイバル）が催されている。

また、一昨年の式典に、北部タイ（チェンマイ、ランパン、ラングーン）の七大学学長から統合の象徴に、大学を桜の名所に、チェンマイを「陽光」彩る街にしたいと、桜三百本の寄贈要望があり、愛媛の高岡さんも協力を約してくれた。このことは、愛媛新聞二〇一九年元旦特集に掲載された。

お知らせ

吉原節夫先生の
米寿を祝う会について



二年前の三月、先生との食事会の際に、米寿の御祝い会を約していましたが、早や二年が過ぎ、いよいよ米寿を祝う会を挙げることとなりました。今回は奥様にも出席いただき、また、吉原ゼミOB諸氏だけでなく、先生と縁の深かった越嶺会員の皆様にも広く参加いただき、ともに祝いたいதாக、越嶺会報の紙面をお借りして、参加を募らせていただきます。

吉原先生におかれましては、最近になり公職等を辞されましたが、法律改正等に際しては関係書籍を取り寄せるなど法学者としての関心は変わらず、お話しをしても極めて頭脳明晰で、奥様と和気

関東越嶺会総会

日時 九月七日（土） 正午

福井支部総会

日時 十月二六日（土）

なお、東北支部は隔年開催で、今年には開きません。

葛々とお過ごしのご様子を伺わせていただきました。

また、このお祝いの会については、形式張らずに皆様と語り合いたいとのご希望でありました。

日時：二〇一九年九月二九日（日）

正午

受付：十一時

会の前にはロビーで、先生ご夫妻と歓談いただけます。

会場：ホテルニューオータニ高岡 高岡市新横町一

〇七六六二二六一一一

会費：八千円

問合・申込：

六月末までに、越嶺会事務局へ FAX、メール、電話、手紙葉書等でお願ひします

吉原ゼミOB会世話人

釜谷春雄（学部二一回） 記

半世紀前の、電気通信機関も無い過酷な工事でしたが、道路、学校、公園、桜は永遠に残ると思えば感無量を覚えるのである。

三月二日に、愛媛南海放送顧問（前会長）河田正道氏（右）と高岡照海氏（遠赤青汁（株）社長（左）と共に



高志の国文学館館長
・中西進氏との縁

新元号「令和」が四月一日に発表され、考案者は万葉集の専門家で二〇一三年文化勲章受章者の中西進氏でないかと話題になっている。

その中西氏と三月二四日に、加藤淳平氏（文語の苑副理事長、初代オマーン大使、元ベルギー大使）とともに懇談する機会があった。話題の人との写真があったのでご披露する。なお、澤井本人は撮影のため写っていない。

お詫び

短大9回 土井みつ枝様はお元気です。大変失礼いたしました。深くお詫び申し上げます。
第13回 田上将夫様のご命日は平成28.5.18でした。（平成29.5.18は誤り）

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
高商18回	村越 健	平 25.9.21	学部21回	作本 隆	平 29.1.23
高商19回	田邊 正	平 30.12.12	学部24回	藤森 栄治	平 30.11.5
学部1回	布上 博	平 28.6.20		橋本 忠明	平 30.12.18
学部3回	山崎 正夫	平 30.12.15	学部31回	飯野 馨	平 29.2.4
学部4回	田村 靖	平 28.7.26	学部48回	堀田 輝人	平 28.12.4
	中村 盛信	平 30.7.11	短大1回	金山 勇	平 30.1.22
学部5回	猪俣 伸夫	平 31.2.3	短大3回	石川 巖	平 21.4.24
	高橋 信也	平 30.10.28		石川智佳子	平 24.2.17
学部8回	釜本 侃	平 30.9.16	短大4回	神保 征司	平 30.11.6
学部10回	山根 範忠	平 30.11.15	短大10回	阿部 信吉	平 31.4.5
	富山 喜義	平 30.8.13		三室 尚武	平
	藪野 秀信	平 30.2.22		恒田 政行	平 28.11.17
学部11回	古本 勲	平 29.5.4	短大12回	安田 俊雄	平 29.8.14
学部13回	松山 仁	平 30.4.11	院 12回	寺井晴一郎	平 30.5.2

富山大学基金便り

第13号 2019.4.1 発行

§ 学長挨拶



日頃より富山大学の教育・研究・社会活動にご理解いただき、また、格別のご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。

私は、平成31年4月より富山大学学長を拝命しました。

本学は、我が国の財政状況の厳しさから、国からの予算が年々削減され、これに対し経費節減など自助努力を重ねておりますが、果たすべき教育・研究機能を維持した将来像を描くことが困難な状態も生まれてきております。

平成24年4月に「富山大学基金」を創設し、本基金の充実に向け、教職員・学生・同窓会並びに関係各位のご支援をお願いして全学的に取り組んでおります。募りました基金は、本誌に掲載のように活用させていただいております。

今後、学生支援や教育研究支援などの事業を充実させるため、引き続き皆様からご支援を賜りますようお願い申し上げます。

§ 富山大学基金の近況

平成31年3月末現在の寄附累計額は、約1億8,668万円となりました。

ご協力ありがとうございました。引き続き宜しくお願いします。

◎「富山大学基金」寄附受入状況（平成31年3月末現在）

区 分	件 数	金 額 (円)	備 考
役員・教職員	735	16,066,000	
元教職員	122	8,033,390	
在 学 生	40	545,000	
同 窓 会	1,323	33,147,580	
保 護 者	98	1,210,000	
法 人 等	118	104,388,237	
一 般	14	23,290,000	
計	2,450	186,680,207	

富山大学基金の募集案内に当たり、富山大学同窓会連合会及び各学部同窓会のご協力とご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

※ご寄附いただいた皆様方で開示をご承諾いただいた皆様の芳名は、Webに掲載しております。誠にありがとうございます

§ 富山大学基金の活動

富山大学基金は平成24年4月に設置され、同年8月から募金活動を始めてから、この約6年間には学内の教職員はもとより、企業法人の皆様方、名誉教授の先生方、事務職員のOB・OGの皆様方並びに同窓会連合会のご協力の下、各学部の同窓会の皆様方のご理解とご協力によりまして、平成31年3月末現在の寄附件数は、2,450件、基金寄附総額は、約1億8,668万円となりました。皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。皆様方からご寄附いただいた基金を有効に活用させていただき、本学の独自事業として富山大学基金の財源で平成26年度から平成30年度の間、学生海外留学支援として28名の学生に対して支援を行い、学生の留学生生活をより充実したものにすることができました。さらに、平成30年度から富山大学グローバルSD研修として若手職員3名を海外派遣いたしました。今後、更に充実していきたいと考えております。

(富山大学基金学生海外留学支援プログラム奨学金受給学生からのメッセージ)



医学部医学科 1年 生澤 慶裕
留学機関：ILSCバンクーバー (カナダ)
留学期間：平成30年 5 月～平成30年12月

この度は、富山大学基金事業学生海外留学支援プロジェクトの奨学生としてご支援いただき、そして私の留学にご理解とご協力を頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

私は将来、国際的人道支援に医師として携わりたいという大きな目標があり、そのために必要な語学力の向上、異国の地における適 応力、また異なる価値観への理解を深めることを主な目的と

し留学しました。

バンクーバーは、互いが価値観を押し付け合うことなく多種多様なそれが共存する場所であり、非常に先進的で刺激的でありました。その環境の中で、他国の人とクラス内外で交流したことは、上記の目的の達成に大きく寄与しただけでなく、私を1人の人間として大きく成長させてくれました。

私は“語学留学”として留学をしましたが、実際は語学のみならず様々なことを学ぶことができた大変有意義な時間でした。

今後も国内外に目を向け、この貴重な経験を他の学生とも共有し、様々な場で還元していきたいと思えます。

(富山大学グローバルSD研修)



この研修は、本学若手事務系職員を日本学生支援機構が実施する日本留学フェアに派遣し、日本留学を希望する外国人に対して、富山大学や富山県の魅力をアピールしてもらうことにより、外国人の日本に対する考え方等に直接触れてもらい、大学の国際化推進に資する能力獲得の機会を与え、職員のグローバル意識や英語スキルの向上を図ること目的とするものです。

これに、富山大学基金より平成30年度から補助いたしました。

研修は、タイ（チェンマイ）、インドネシア（ジャカルタ）、ベトナム（ホーチミン）へそれぞれ3泊程度で、各1名を派遣し、日本留学フェアで本学のアピールや現地日本語学校への訪問を行いました。さらに、タイ、ベトナムにおいては、元本学留学生と現地同窓会設立に向けての打合せも行いました。

派遣された研修者による報告会を11月8日開催し、研修の状況、これにより得たことや反省点などの報告がありました。この研修は、将来に生かされると期待が持てるものでした。

〈SD研修 ― 大学の管理運営、教育や研究の支援までを含めた質の向上を図るため、事務職員や技術職員などを対象に行われる、職能開発の組織的な取り組み〉

◎ 寄附金の申込み方法は次のとおりです。

- ① 寄附の申込みを希望される方は、下記（お問い合わせ先）まで電話、FAXまたは郵送でお知らせください。
- ② 富山大学から富山大学基金趣意書及び専用の「振込用紙」を郵送いたします。
- ③ 郵送の「振込用紙」により指定金融機関からお振込みください。なお、振込手数料は本学が負担しますので、寄附者様のご負担はございません。ただし、その他の指定以外の金融機関からお振込みいただく場合は、振込手数料が発生しますので、振込金額欄には、振込手数料を差し引いた金額を記入いただき、振込手数料と合わせてお振込み手続きをお願いいたします。この場合、振込手数料を含めた金額を寄附金としてお取扱いたします。また、富山大学基金へのご寄附は何回でも可能です。ご寄附について、寄附者様ごとに累計して管理いたします。
- ④ 寄附金の入金を確認させていただいた後、本学が発行する「寄附金受領証明書」をお送りいたします。

（お問い合わせ先） 富山大学基金事務室 〒930-8555 富山市五福3190

Tel : 076-445-6178 Fax : 076-445-6014

E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp

住所等変更通知のお願い

(FAX : 076-445-6419)

住所や姓名等に変更のあった方は、FAX でお知らせ下さい。(メール・葉書も可です)

		卒回	回	年	月卒
お名前		(旧姓)			
新住所 〒□□□-□□□□					
新電話 ()-()-() 新FAX ()-()-()					
差しつかえなければメールアドレス					
勤務先					
住所 〒□□□-□□□□					
電話 ()-()-() FAX ()-()-()					

越 嶺 会

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL (076) 445-6411 (ダイヤルイン)

FAX (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ : <http://www3.u-toyama.ac.jp/etsurei>

e-mail etsurei@eco.u-toyama.ac.jp

越嶺会総会へのお誘い

令和元年度越嶺会総会を下記のとおり開催しますので、ご出席をお待ち申し上げます。

第1部は総会として、決算・予算、役員改選等の審議をお願いします。

第2部は懇親会として、互いに近況を語り歓談する場といたく考えています。



記

日時：2019年5月29日(水)18:00

会場：オークスカナルパークホテル富山

富山駅北口(富山市牛島町11-1、電話076-433-1122)

会費：5千円

新卒3年まで5百円、現役学生も5百円

FAX送信票

富山大学越嶺会事務局 行 (FAX: 076-445-6419)

5月29日(水)越嶺会総会に

出席 欠席 する

お名前

卒回

学部
短大
院

回
回
回

年卒
年卒
年修

通信欄